

## 平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査神奈川県立中等教育学校の調査結果について

平成 31 年 4 月 18 日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、県立中等教育学校前期課程 3 年生の生徒の学習及び生活の概況をお知らせします。

今回の分析結果を踏まえ、今後は、各学校と協働しながら学力向上と教育課程や学習指導の充実・改善を図っていきたいと考えております。

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること。

#### (2) 調査内容

##### ①教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

##### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

#### (3) 調査結果の見方

調査結果については、県立中等教育学校全体の結果です。序列化や過度な競争につながるようなようにするため、各学校の数値による結果の公表はいたしません。

### 2 教科に関する調査の分析・改善に向けて

【平均正答率】

(単位：%)

	国語	数学	英語
県立中等教育学校	93	85	77
神奈川県（公立）	73	59	59
全 国	72.8	59.8	56.0

※文部科学省からデータ提供されたもの

### (1) 国語に関する調査結果

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域等について、全国の結果と比較すると、すべての領域等において平均正答率が高くなっており、概ね満足できる結果であった。

#### 《課題があった内容》

◆ 問題番号 $\boxed{1}$ 四「封筒の書き方を理解して書く」では、他の問題に比べ、やや正答率が低かった。

#### 《改善に向けて》

○ 問題番号 $\boxed{1}$ 四については、手紙を書く相手を具体的に定め、実際に手紙のやりとりを行わせることや、日常生活においてもメモやノート、届け出の書類、ポスターや掲示物といった様々な書式に合わせて、適切な字形や書体で書くなど、書写の能力を広く生活に役立てようとする態度を育てることが大切である。

### (2) 数学に関する調査結果

「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の領域について、全国の結果と比較すると、すべての領域等において平均正答率が高くなっており、概ね満足できる結果であった。

#### 《課題があった内容》

◆ 問題番号 $\boxed{6}$ (2)「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」では、他の問題に比べ、やや正答率が低かった。

◆ 問題番号 $\boxed{8}$ (2)「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な説明を用いて説明することができる」では、正答率が低かった。

#### 《改善に向けて》

○ 問題番号 $\boxed{6}$ (2)の内容については、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式、グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について明らかにすることができるように指導していくことが大切である。

○ 問題番号 $\boxed{8}$ (2)の内容については、例えば、平均値が代表値としてふさわしいかどうかをデータの分布の様子から検討し、判断する場面を設定することなどが大切である。

### (3) 英語に関する調査結果

「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の領域について、全国の結果と比較すると、すべての領域等において平均正答率が高くなっており、概ね満足できる結果であった。

#### 《課題があった内容》

◆ 問題番号 $\boxed{4}$ 「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる」では、

他の問題に比べ、正答率が低かった。

- ◆ 問題番号 $\boxed{8}$ 「書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる。」では、他の問題に比べ、正答率が低かった。
- ◆ 問題番号 $\boxed{10}$ 「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。」では、他の問題に比べ、正答率が低かった。

#### 《改善に向けて》

- 問題番号 $\boxed{4}$ の内容については、聞いて理解するだけの活動にせず、目的を持って英語を聞き、話し手が何を求めているのかを踏まえて自分の考えや意見を表現させる活動等を積み重ねていくことが大切である。
- 問題番号 $\boxed{8}$ の内容については、読んで理解するだけの活動にせず、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べるようにすることが大切である。
- 問題番号 $\boxed{10}$ の内容については、テーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるようにすることが大切である。

### 3 質問紙に関する調査の分析・改善に向けて

#### 《良好であった内容》

- ◇ 「読書は好きですか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均より高かった。また、読書時間や図書館等の利用回数も全国平均より多かった。
- ◇ 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか。」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均より高かった。
- ◇ 「1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか」の質問に対し、「ほぼ毎日」「週1回以上」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均より高かった。
- ◇ 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均より高かった。
- ◇ 「数学の勉強は好きですか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均より高かった。
- ◇ 「英語の勉強は大切だと思いますか」、「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」、「あなたは将来、積極的に英語を使う

ような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均を上回った。

#### 《課題があった内容》

- ◆ 「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合は全国平均を下回った。
- ◆ 「国語及び数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」のいずれかを答えた生徒の割合は全国平均を下回った。

#### 《改善に向けて》

- 前期課程の段階で学習する数学や国語の内容が、将来、どのような形で役立つのかを生徒一人ひとりがイメージできるよう、自分の考えについて、仲間と意見を交換する活動を設定していくことが大切である。